



上天草市立上天草総合病院

地域医療連携通信

あこう

上天草総合病院理念
信頼される地域医療
基本方針

1. 私達は患者様中心の医療をめざします。
2. 私達は、地域に根ざしたところあたたかな医療を提供します。
3. 私達は、患者様に快適で安全・安心な医療を提供します。
4. 私達は、退院後も安心して療養できる病院をめざします。
5. 私達は、常に自己研鑽に努め、医療水準の向上に励みます。
6. 私達は、健全な病院経営をめざします。

上天草市立上天草総合病院 地域医療連携室

TEL・FAX : 0969-62-1547(直通)

住所: 866-0293 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19

電話: 0969-62-1122(代) FAX: 0969-62-1546

URL: <http://www.cityhosp-kamiyamasa.jp/>

発行責任者: 地域医療連携室長 福田 誠

皆様 はじめまして

内科医師

てんじん ゆうき

天神 佑紀



皆様はじめまして。内科医師の天神 佑紀(てんじん ゆうき)と申します。平成25年4月1日より上天草総合病院で勤務させて頂くこととなりました。独身ですので、病院宿舎に住まわせて頂いております。平成21年度卒業、前任地は国立病院機構熊本医療センターです。こちらに赴任してからは一般内科医師として、悪性腫瘍や感染症、アレルギー性疾患など多彩な病態を各専門領域の方面から多く勉強させて頂いております。熊本市内で勤務していた頃は、内科医師と言いましても専門科の縦割りが存在し、ある意味狭い範囲のみで診療を行なうことがほとんどでした。しか

し、実臨床では、特にご高齢の患者様は同時に多くの疾患に罹患されています。その一つ一つの問題点は複雑に絡み合っておりますので丁寧に紐解く必要があり、順序立てて解決することで、病状の確かな改善が得られ、患者様自身の実際の利益に繋がります。

私は呼吸器内科が専門ですが、上天草総合病院に赴任して専門外の領域で新たに経験したこと、感じたことはとても貴重で、生涯の財産になるものと感じております。外来・病棟業務で、問題を次々提起される日々が続いており、上級の先生方のみならず、社会に鍛われておりますが、非常にやりがいを感じています。まだまだ若輩者の私ですので、周囲の皆様より、今後とも何卒ご指導・ご鞭撻の程を宜しくお願い申し上げます。

当院が『日本感染症学会認定研修施設』として認定されました

この認定制度は日本感染症学会が感染症専門医養成のための研修にふさわしい施設を日本感染症学会研修施設として認定し、研修を委嘱するためのものです。研修施設の資格として

- 1) 医療機関附属病院、総合病院、またはこれに準ずる病院であること
- 2) 日本感染症学会指導医が1名以上常勤していること
- 3) 本学会の研修プログラムに基づく研修が可能であること

以上の要件をすべて満たすことが必要です。その他にも、

- ① 感染制御を業務とする部署あるいはInfection Control Team (ICT) があること
 - ② 年間の血液培養検体数が施設の病床数を超えていること
 - ③ 細菌検査室があること、またはグラム染色が施設内でできること
- 等の要件もあります。

当院では、この度これらの要件を満たし、2013年3月1日から2018年2月28日までの5年間研修施設として認定され、認定証を受領することができました。

ちなみに、感染症専門医の資格認定試験の受験資格の1つに、研修施設での3年間の研修が義務付けられています。

また、熊本県で日本感染症学会認定研修施設は、済生会熊本病院と当院の2施設のみです。

(事業管理者 樋口 定信)



森こずえ看護部長 熊本県知事表彰を受賞

平成25年5月12日(日曜日) フローレスナイチンゲールの誕生日に行われる「看護の日」記念式典において、優良看護師表彰として熊本県知事表彰を頂きました。

熊本県下各施設の中から、12名の看護師と一緒に表彰を受けました。それぞれ、自分の仕事に誇りを持ち、一心に仕事をしてこられた方々のように見受けられ、皆さんの笑顔は自信に輝いていたように思います。

看護教育の場から臨牀へ異動して8年、看護部の皆様の惜しみない協力と後押しが、今回の受賞につながったものと思っております。これから、受賞した一人として恥ずかしくないよう、今まで以上に、上天草総合病院の看護の質の向上と、人材の育成に頑張っていかなければと考えております。ありがとうございました。(看護部長 森 こずえ)



表彰状と一緒に贈られた記念品です。

<ネスレ in 天草> 特別講演会 『褥瘡ケアと栄養について』

講師 管理栄養士・栄養サポートチーム専門療法士・NSTディレクター 田村 佳奈美 先生

6月19日の夕方、<ネスレ in 上天草>が当院で開催されました。当日は台風の影響で講師の先生の来訪も危ぶまれましたが、はるばる福島より、管理栄養士・栄養サポートチーム専門療法士・NSTディレクターである田村佳奈美先生による「褥瘡ケアと栄養について」と題して特別講演がありました。当院医療スタッフをはじめ、近隣の医院などから関係者100名ほどの参加がありました。

先生は、福島労災病院に勤務されており、東北大地震直後の栄養士としての活動が写真に収められていました。褥瘡にまつわる歴史や、近年褥瘡ケアのエビデンスは確立されたものの「褥瘡の栄養ケア」においてはなかなか確立できてない現状であり、「栄養状態を改善し全身状態を整え維持することは、創傷治癒に不可欠である。更に栄養状態を改善するための経口摂取や栄養は免疫機能の維持やQOLの改善にもおおいに重要である」と話されました。先生のパワフルなそして熱意あるお話に聴き入りました。私は褥瘡チームに所属していますが、褥瘡が早期に改善したPEG患者の症例のスライドを見て、わかってはいるつもりでしたが、改めて褥瘡ケアに栄養は重要であると学びました。そして、講演の翌日、難治性の褥瘡や皮膚潰瘍の計5名の患者に同行して頂いた時、当院のわが褥瘡チームのラウンドはどちらかというと処置的ことが主になっていたことを反省しました。除圧に苦悩していた症例には具体的に除圧の方法を、皮膚潰瘍の患者には衛生材料の選択を、それプラス、栄養アセスメントによる栄養補助食品の活用(現場に栄養補助食品を持参)

などアドバイスしていただきました。

何よりもラウンドに同行させていただき感動したことは、「褥瘡の瘡は、字で表わすと病だれであり、局所の創だけを診るだけでなく、人全体をみなければならぬ」と、講演の中でもお話されたように、患者さんにスキンシップしながらまた、コミュニケーションをとりながら、ラウンドしておられる先生の姿でした。

最後に、先生の来訪は今後の栄養サポートチームの課題である栄養・摂食嚥下・褥瘡の3チームの連携に示唆を与えるものになったのではないかと思います。(なかなか時間的に難しいかもしれませんが3チーム合同のラウンドを月に1回できるようにできればいいと思います)

(3病棟師長 緒方 美代子)



ナイチンゲール生誕祭での誓い

4病棟看護師 竹ノ内 絵未

5月17日（金）上天草総合病院でナイチンゲール生誕祭が執り行われました。

看護師、看護学生その他、高校生、地域住民の参加もあり、ろうそくの燈火のなか厳かに進行しました。

私はこれまで看護学生という立場での参加でしたが、今回初めて看護師として、しかも女神役で参加させて頂きました。学生の時は1人の患者様を受け持っていました。入職後は1人で多くの患者様を対象とし、めまぐるしい日々の業務に自分の思い描いていた看護師像を見失いかけていました。

今回ナイチンゲール生誕祭に参加し、患者様1人ひとりと接する時間を大切に、初心を忘れず、傾聴と笑顔で看護を行なっていくという気持ちを再確認することができました。この日に誓った目標を胸に自分が考える看護師像に近づくため日々努力していきたいと思えます。



研修会・勉強会の行事予定表

7月3日（水）	S-QUE院内研修1000' Eナース 「臨床実践に必要なフィジカルイグザミネーション ～主訴から推理するフィジカルアセスメント」 講師；藤野 智子 氏 （聖マリアンナ医科大学病院）	17：40～ 当院6階講堂
7月9日（火）	マザークラス 『お産の経過と呼吸法について』	13：30～ 当院6階講堂
7月11日（木）	第2回認知症を勉強する会 演題「認知症の診断と薬物療法」 講師 山鹿中央病院 副院長 原 暁生 先生	19：00～ ホテル竜宮
7月12日（金）	糖尿病教室	13：15～ 当院6階講堂
7月17日（水）	S-QUE院内研修1000' Eナース 「看護職のための臨床推論入門 ～フィジカルアセスメントのレベルアップを目指して」 講師；喜瀬 守人 氏 （医療福祉生協連 家庭医療学開発センター）	17：40～ 当院6階講堂
7月19日（金）	心臓リハビリテーション教室「狭心症と心筋梗塞について」 循環器内科部長 脇田 富雄 先生	13：30～ 当院6階講堂
7月24日（水）	NST勉強会	17：30～ 当院6階講堂
7月26日（金）	がんサロン	13：30～ 当院6階講堂
	S-QUE院内研修1000' Eナース 新特別企画 病院環境フォーラム' 13東京 「病院機能評価2013年 新たな枠組みと付加機能評価」	17：00～ 当院6階講堂

医療施設の皆様の勉強会・研修会への参加をお待ちしています。

参加申し込み・内容等については『地域医療連携室：TEL0969-62-1547』までお問い合わせ下さい。

編集後記

○梅雨本番の今日この頃。俄かに発生する台風の進路と梅雨前線の動きに敏感になる。日本の季節の巡りであり、自然には逆らえない。天草大水害の被害地となったこの地に、せめて、局地的な災害のないことを祈りたい。（福田）

○我が家のエアコンがついに壊れ、寝苦しい地獄の日々です。幼い頃はエアコンなど無く、蚊帳を張って、戸を開け放して寝ていたことをふと懐かしく思い出しました。蚊帳の中へは蚊が入らないよう素早く、そっと屈んで入って中では騒いでいたような記憶があります。今ではほとんど見ることもなくなり、エアコンのない夜は考えられませんが。（森口る）

7月 診療案内

	月	火	水	木	金	休診日
内科 (代謝内科 消化器内科 呼吸器内科) 新患担当	樋口 定信 坂本 興美 和田 正文 村本 啓	大村 信正 和田 正文 山城 武司 天神 佑紀	坂本 興美 大村 信正 石田 隼一 村本 啓 (10時～) 志摩 清	樋口 定信 和田 正文 山城 武司 石田 隼一 前田 幸佑 (石田 隼一)	坂本 興美 山城 武司 天神 佑紀 応援医師	
循環器内科	脇田 富雄 前田 幸佑	脇田 富雄 前田 幸佑	脇田 富雄	脇田 富雄 前田 幸佑	脇田 富雄	
※ペースメーカー外来は(3、6、9、12月)に行います。						
小児科	田原 正英	田原 正英	田原 正英	田原 正英	田原 正英	
外科・肛門外科 消化器外科	福田 誠	城野 英利	福田 誠 ／ 蓮尾 友伸	城野 英利	蓮尾 友伸	
整形外科	藤松 晃一	上原 悠輔	藤松 晃一	胤末 亮(午後) (久米慎一郎)	藤松 晃一	26日
※毎週木曜日(予約制)は午後2時から午後5時まで診察を行います。						
産婦人科	姫野 隆一	姫野 隆一	姫野 隆一	姫野 隆一	姫野 隆一	
耳鼻咽喉科	—	熊大	—	—	熊大	12日
眼科	竹下 哲二	竹下 哲二	—	竹下 哲二	竹下 哲二	
※午後は、検査の予約外来です。ただし、月・水曜日は手術日です。						
皮膚科	—	—	—	尹 浩信	—	18日
泌尿器科	—	小川 愛一郎	—	—	—	
超音波・ 内視鏡センター	蓮尾 友伸 城野 英利 石田 隼一	福田 誠 蓮尾 友伸	城野 英利 和田 正文 石田 隼一	福田 誠 蓮尾 友伸 (坂本 興美)	城野 英利 石田 隼一 (村本 啓)	
歯科・口腔外科	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	
※午後は、1時～4時30分まで受付けます。						

教良木診療所 応援	大村 信正	坂本 興美	樋口 定信	応援	前田 幸佑	
御所浦診療所 応援	午前	山城 武司 (第2・4)	村本 啓	竹下 哲二	—	樋口 定信 (大村 信正)
	午後	—	村本 啓	—	—	天神 佑紀
御所浦北診療所 応援 (午後のみ)	樋口 定信 (第1・3) 山城 武司 (第2・4)	—	—	大村 信正	—	

※診療受付時間は午前8時30分～11時30分まで行います。

※脳神経外科は月2回(第2、第4水曜日)の午後2時より診療を行います。(予約制です)

※内科は、火・木の午後5時～午後6時まで診療を行います。

※木曜日の内科山城医師の外来は午前と午後3時～午後6時まで診療を行います。